

3 マイクロプラスチック対策 蒲郡市にできることは?



2021年12月の議会では、マイクロプラスチックについて取り上げました。大きさが5ミリメートル以下の小さなプラスチックを「マイクロプラスチック」と言います。人間の活動によって生み出され、自然界で分解されることなく、半永久的に残ってしまうことから、いま、世界中で大きな問題になっています。



特に問題なのは、魚や貝などが、マイクロプラスチックをエサと間違えて食べる可能性があることです。そして、その魚や貝を私たち人間が食べてしまうという可能性もあります。私たちの健康にも直結する課題です。



マイクロプラスチックを食べてしまった魚を
私たちが食べてしまう可能性も



蒲郡市でもプラスチック製の人工芝を使っている公共施設があります。人工芝は長く使っていると、摩耗したり劣化したりしてちぎれ、小さな破片が発生します。それが、海や川に流れ出て、マイクロプラスチックとなってしまいます。

蒲郡市の行政においても、不要なプラスチック製品の使用を減らしていくことが不可欠であると私は考えています。



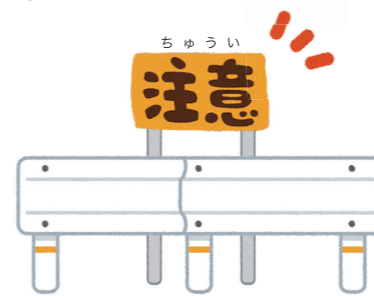
4 ふじたひろき活動報告 ～川に子どもが落ちてしまった～



「子どもが川に落ちた。危ないのでガードレールが必要ではないか」とのご相談をいただきました。

今年に入ってから、2件立て続けに起きたそうです。1件は、川に落ちたものを拾おうとして、自分も落ちてしまったとのこと。幸い、すぐに通りかかった人に助けをもらい、けがなどもありませんでした。もう1件は、同じ川のもう少し下流側ですが、やはり子どもが川に落ちてしまい、救急車が呼ばれるほどの事態だったとのことでした。

現地を改めて確認したところ、どちらも部分的にしか、ガードレールがついていませんでした。しかも、道の上から川までは、数メートルの高さがあり、場合によっては、大きなけがにもつながりかねないところだと感じました。



川の管理は基本的には愛知県の担当ですが、ガードレールの設置については、場所によっては市が対応します。市に確認をお願いしたところ、今回はどちらも愛知県の方で対応する場所とのことでしたので、市を通じて、ガードレールの設置をお願いしました。子どもの安全に関わるような事案ですので、可能な限り早く対応をしていただきたいと思います。

